

東海だより

創刊号

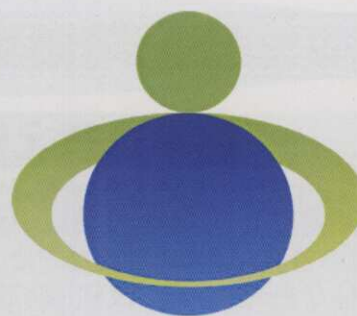
東海防衛支局発行

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目2番1号

電話：052-952-8212

<http://www.mod.o.jp/rdb/tokai/>



防衛省

MINISTRY OF
DEFENSE

空自機 C-130H ジブチへ出発



平成21年5月18日 アフリカ・ソマリア沖の海賊対策で活動するための海上自衛隊P-3Cの整備機材等を積み込み、小牧基地からジブチへ向けて出発するC-130H 輸送機

東海防衛支局って何やってるの

簡単に言えば防衛施設関連の仕事

・ 障害防止工事への助成（河川改修・防砂施設・道路改修等の工事）

演習場の荒廃大型車の通行などによって生じる障害を防止したり、軽減したりするため、市町村などが行う河川改修・防砂施設・道路改修など工事に対して助成を行っています。

・ 民生安定施設への助成（公園・消防施設・道路等の整備）

飛行場・演習場などがあることによって周辺住民の方に影響を及ぼす場合には、その障害を緩和するため、市町村が行う公園・消防施設・道路等の整備に対して助成を行っています。



大原川砂防工（三重県）

・ 学校等の防音工事及び住宅防音工事

飛行場周辺において、航空機の頻繁な離着陸等による音響の障害を防止・軽減するため、市町村等が実施する学校、病院、特別養護老人ホームなどの防音工事や音響障害が著しいとして指定された区域内の住宅の所有者等の方が実施する防音工事に対して助成を行っています。



各務原市那加中央保育園



飛鳥美谷苑(特別養護老人ホーム)

・ 移転補償

飛行場周辺において、航空機の頻繁な離着陸により音響の障害が特に著しいとして指定された区

域内の建物等の移転補償や土地の買い入れを行っています。

・ 緑地の管理

飛行場周辺の国有地に係る緑地の整備等を行っています。

・ 農業補償

自衛隊や在日米軍の航空機の離着陸等の訓練に起因して、経営者が被った農業の損失等について補償を行っています。

・ 防衛施設の取得・管理等

自衛隊や在日米軍が使用する土地等の買い入れ、借り上げ及び施設の財産管理等を行っています。

・ 防衛施設の建設工事

自衛隊が使用する飛行場施設・庁舎・隊舎・体育館・病院等の建築・土木・電気・機械・通信の各種建設工事における調査・設計・積算・契約・監督・検査等を行っています。

緑地整備



守山駐屯地 本部庁舎 平成21年5月完成



豊川駐屯地 警衛所 平成20年8月完成

市町村担当者の目（空自・小牧基地関連豊山町）



私たちのまち豊山町は、昭和47年に町制を施行し、豊山町となりました。本町は、愛知県西春日井郡にあり、濃尾平野のほぼ中央に位置しています。近年では都市化が進む一方で、昔からの田園風景を守り、歴史的・文化的遺産を大切に保存して次代へ伝えていこうという気風も豊かです。

こうした中で、本町の北東部に所在する航空自衛隊小牧基地は、昭和34年5月に開庁され平成21年5月で開庁50周年を迎えます。そうした長期の関わりの中では、当然地域との摩擦も発生していきます。例えば、昨年度にはC130輸送機における油圧系統のトラブルによる緊急着陸や滑走路逸脱の事故が起っています。そのたびに周辺市町は申し入れを行い、原因と対策の説明、安全教育と機体整備など事故防止対策の徹底を求めています。ですから、地域との摩擦を軽減させるためにも、速やかで確実な情報提供に一層のご努力を賜りたいと切に願っております。

また、航空自衛隊小牧基地内には農業用排水路が存在し、上流からの用水を本町に運ぶ重要な役目を担っています。そのため農繁期になると、用水量が少ないのは基地内で用水の流れが阻害されている箇所があるのではないかと等々の苦情が本町によせられることがあります。それだけ農業を営む方々にとって、用水は非常に重要かつ深刻な問題なのです。そのような場合、小牧基地におかれましては、町職員や地元住民と協力して速やかに対応をしていただけており、大変感謝いたしております。今後はこれまで以上に自衛隊・行政・住民相互間の信頼関係を強固なものとし、さらに綿密な協働体制を構築することが必要不可欠であると考えておりますので、ご支援と、御協力をお願いしたいと思っております。

最後になりましたが、今後とも引き続き本町行政に深いご厚誼をいただきますようお願い申し上げます。

防衛装備品関連の仕事

自衛隊の任務遂行に必要な装備品や役務の調達に関する契約を行った相手方に対し、検査・監督・原価監査を実施しています。

- ・ 監督とは、契約の適正な履行を確保するため、工程中の確認行為です。
- ・ 検査とは、完成又は納入時において、契約どおりのものか確認行為です。
- ・ 原価監査とは、契約履行のために支出し、又は負担した費用が妥当かどうかの確認行為です。

写真は、三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所の小牧南工場内で航空自衛隊のF-2支援戦闘機の監督を実施しているところです。

他に、戦闘機（F-15・F-4）、哨戒ヘリコプター（SH-60K）、などの監督・検査も実施しています。

川崎重工業岐阜工場においては、対潜哨戒機（P-3C）、輸送機（C-130・C-1）輸送ヘリコプター（CH-47J）、警戒機（E-767・E-2C）練習機（T-4）など航空機の監督・検査を実施しています。

これら航空機以外にも、ペトリオットなどの誘導弾、小型トラックなどの車両、小銃、弾薬など様々な装備品の検査・監督・原価監査を実施しています。



航空機の前脚室内の工程確認



速度検知センサーの工程確認

